

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月8日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 サン・ライフ  
 コード番号 4656 URL <http://www.sunlife.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 比企 武

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務支援本部長 (氏名) 石野 寛

TEL 0463-22-1233

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	8,069	1.6	895	19.1	963	5.8	531	22.5
22年3月期第3四半期	7,945	△0.7	752	—	910	—	434	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	83.84	—
22年3月期第3四半期	67.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	34,693	3,670	10.6	580.51
22年3月期	34,911	3,423	9.8	534.64

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 3,670百万円 22年3月期 3,423百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
23年3月期	—	15.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	3.2	960	3.9	1,100	7.3	550	15.0	85.47

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名

）、除外 一社（社名

）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 6,820,000株 22年3月期 6,820,000株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 496,778株 22年3月期 416,200株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 6,341,771株 22年3月期3Q 6,442,478株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	7
【第2四半期連結累計期間】 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間売上高は前年同期比1.6%増の8,069百万円となりました。

ホテル事業は、婚礼施行組数の減少により売上高は前年同期比9.7%減の2,501百万円となりました。

式典事業は、新設斎場（5月：海老名セレモニーホール、11月：八王子北口セレモニーホール及び平塚西セレモニーホール）が順調に稼働したこと、継続的なご葬儀勉強会、生前相談会等を行った結果、葬儀施行件数が増加し、売上高は前年同期比6.6%増の5,100百万円となりました。

その他の事業は、有料老人ホーム「サンガーデン湘南」の入居者増加もあり、前年同期比20.2%増の467百万円となりました。

営業費用は、引続き人員配置の効率化、仕入原価の低減に努め、前年同期比0.3%減の7,173百万円となりました。

これらの結果、営業利益は前年同期比19.1%増の895百万円、経常利益は前年同期比5.8%増の963百万円、四半期純利益は前年同期比22.5%増の531百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の総資産は34,693百万円となりました。

##### (資産)

当第3四半期末の資産は、前連結会計年度末に比べ218百万円減少し、34,693百万円となりました。これは、現金及び預金の増加等による流動資産の増加1,682百万円、のれんの償却等による無形固定資産の減少203百万円、供託金の取り崩し等による投資その他の資産の減少1,710百万円によるものです。

##### (負債)

当第3四半期末における負債は、前連結会計年度末に比べ465百万円減少し、31,022百万円となりました。これは、未払金の減少107百万円、未払法人税等の減少300百万円等によるものです。

##### (純資産)

当第3四半期末における純資産は、前連結会計年度末に比べ246百万円増加し、3,670百万円となりました。これは、四半期純利益の計上により531百万円増加し、配当金の計上により190百万円減少した結果、利益剰余金が340百万円増加した一方で、自己株式の購入により71百万円、その他有価証券評価差額金21百万円の減少によるものです。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ1,956百万円増加し、7,345百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は753百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益909百万円、減価償却費539百万円を計上した一方、法人税等支払額569百万円が発生したことが主たる要因であります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は1,464百万円となりました。これは、供託金の返還による収入1,070百万円、定期預金の払戻による収入500百万円、投資有価証券の売却による収入565百万円、投資有価証券の償還による収入194百万円が発生した一方、有形及び無形固定資産の取得による支出472百万円、投資有価証券の取得による支出351百万円が発生したことが主たる要因であります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果支出した資金は262百万円となりました。これは、配当金の支払189百万円及び自己株式の取得71百万円が発生したことが主たる要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の業績につきましては、平成22年11月5日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」の通りであります。尚、通期連結業績予想は、第4四半期以降の景気の不透明感から、そのまま据え置くことといたします。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

#### ① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積額を算定しております。

#### ② たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

#### ③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ④ 繰延税金資産の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、且つ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 1. 会計処理基準に関する事項の変更

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益がそれぞれ1,302千円、税金等調整前四半期純利益は16,805千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は27,834千円であります。

#### 2. 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,099,225	5,218,437
売掛金	425,147	350,805
有価証券	663,185	498,845
商品及び製品	38,911	31,390
原材料及び貯蔵品	55,856	58,348
その他	241,790	683,641
流動資産合計	8,524,117	6,841,468
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,355,536	7,114,263
土地	9,435,345	9,435,345
その他（純額）	391,831	618,189
有形固定資産合計	17,182,713	17,167,799
無形固定資産		
のれん	1,652,477	1,827,445
その他	436,958	465,473
無形固定資産合計	2,089,436	2,292,918
投資その他の資産		
供託金	2,104,665	3,174,665
その他	4,857,444	5,492,369
貸倒引当金	△72,887	△66,951
投資その他の資産合計	6,889,222	8,600,083
固定資産合計	26,161,372	28,060,801
繰延資産		
開業費	7,669	9,439
繰延資産合計	7,669	9,439
資産合計	34,693,159	34,911,709

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	618,484	590,552
未払金	325,567	433,099
未払法人税等	95,877	396,339
引当金	113,656	160,600
その他	688,816	622,851
流動負債合計	1,842,402	2,203,443
固定負債		
前払式特定取引前受金	28,453,839	28,654,609
引当金	224,208	211,114
その他	501,954	418,757
固定負債合計	29,180,003	29,284,481
負債合計	31,022,405	31,487,924
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	610,000	610,000
資本剰余金	236,733	236,733
利益剰余金	3,380,539	3,039,730
自己株式	△480,017	△408,124
株主資本合計	3,747,254	3,478,339
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△76,501	△54,554
評価・換算差額等合計	△76,501	△54,554
純資産合計	3,670,753	3,423,784
負債純資産合計	34,693,159	34,911,709



## (2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	7,945,653	8,069,113
売上原価	5,800,864	5,833,371
売上総利益	2,144,788	2,235,742
販売費及び一般管理費	1,392,586	1,339,877
営業利益	752,201	895,865
営業外収益		
受取配当金	31,639	12,992
前受金月掛中断収入	68,512	54,516
不動産賃貸収入	17,785	12,344
投資有価証券売却益	85,488	3,832
その他	60,578	64,691
営業外収益合計	264,003	148,377
営業外費用		
不動産賃貸費用	18,803	11,869
投資有価証券売却損	24,836	14,884
前受金復活損失引当金繰入額	43,147	42,530
その他	18,665	11,829
営業外費用合計	105,453	81,113
経常利益	910,752	963,128
特別損失		
固定資産除売却損	77,916	35,736
投資有価証券評価損	25,162	1,999
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	15,503
特別損失合計	103,078	53,239
税金等調整前四半期純利益	807,673	909,889
法人税、住民税及び事業税	301,075	277,892
法人税等調整額	72,496	100,282
法人税等合計	373,572	378,174
少数株主損益調整前四半期純利益	—	531,714
四半期純利益	434,100	531,714

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	807,673	909,889
減価償却費	585,792	539,630
のれん償却額	174,968	174,968
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,303	10,331
長期未払金の増減額 (△は減少)	△8,834	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,328	5,935
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△32,540	△76,944
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	30,000	30,000
前受金復活損失引当金の増減額 (△は減少)	11,845	2,763
投資有価証券償還損益 (△は益)	—	△6,561
投資有価証券売却損益 (△は益)	△60,651	11,051
投資有価証券評価損益 (△は益)	25,162	1,999
受取利息及び受取配当金	△48,589	△39,417
有形固定資産除売却損益 (△は益)	77,916	35,736
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	15,503
売上債権の増減額 (△は増加)	18,129	△74,341
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,611	△5,028
仕入債務の増減額 (△は減少)	71,585	27,932
未払金の増減額 (△は減少)	△60,986	△173,384
前払式特定取引前受金の増減額 (△は減少)	△82,844	△200,770
保証金の増減額 (△は増加)	△98,661	△8,932
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	△4,328	△5,935
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	29,949	3,544
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	27,387	82,340
その他	△11,050	6,551
小計	1,455,943	1,266,862
利息及び配当金の受取額	48,658	39,562
法人税等の支払額	△41,236	△569,198
法人税等の還付額	109,353	16,378
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,572,719	753,605

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	—	500,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,402,353	△472,917
有形及び無形固定資産の除却による支出	△480	△31,172
投資有価証券の取得による支出	△1,213,591	△351,269
投資有価証券の売却による収入	762,618	565,169
投資有価証券の償還による収入	300,000	194,640
供託金の返還による収入	1,200,000	1,070,000
供託金の預入による支出	△400,000	—
貸付けによる支出	—	△21,732
貸付金の回収による収入	4,590	21,078
その他	—	△8,813
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△749,216</b>	<b>1,464,983</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△185,850	△189,434
自己株式の取得による支出	△37,491	△71,893
その他	—	△748
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△223,341</b>	<b>△262,076</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>600,161</b>	<b>1,956,511</b>
現金及び現金同等物の期首残高	4,285,975	5,389,235
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,886,136	7,345,746

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

	ホテル事業 (千円)	式典事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,770,190	4,786,487	388,975	7,945,653	—	7,945,653
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	49,940	—	590,140	640,081	(640,081)	—
計	2,820,131	4,786,487	979,116	8,585,734	(640,081)	7,945,653
営業利益又は営業損失(△)	359,808	1,039,044	△5,178	1,393,674	(641,472)	752,201

(注) 1. 事業区分は、売上の集計区分によっております。

2. 各事業区分に含まれる主な営業店舗、事業等

(1) ホテル事業……ホテルサンライフガーデン、八王子ホテルニューグランド、ザ・ウイングス

(2) 式典事業……斎場 平塚斎場、伊勢原総合ホール、西湘ホール、小田原式典総合ホール、

しづさわホール、サン・ライフ サカエヤ・ホール、相模斎場、

大和総合ホール、橋本総合ホール、相模原会館、町田総合ホール、座間ホール、

八王子総合ホール、南多摩総合ホール、高倉総合ホール、八王子南口総合ホール

仏壇店 サカエヤ仏壇店、サカエヤ仏壇店相模原店、サカエヤ仏壇店八王子店

エンバーミング（ご遺体衛生保全）

(3) その他の事業…介護事業、互助会会員募集、婚礼葬儀施行斡旋事業、ファイナンシャル・サポート・サービ

ス、有料老人ホーム事業、少額短期保険業他

## 【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、取扱うサービス別に包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、これらを基礎とした事業の種類別かつエリア別セグメントから構成され、経済的特徴の類似性等を勘案し、事業セグメントを集約した「ホテル事業」、「式典事業」の2つを報告セグメントとしております。

「ホテル事業」は、ご婚礼、ご宴会及びご宿泊のサービスを行っております。「式典事業」は、ご葬儀、ご法要、エンバーミング（ご遺体衛生保全）のサービス及び仏壇店の運営を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	ホテル事業	式典事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	2,501,010	5,100,425	7,601,436	467,677	8,069,113	—	8,069,113
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	62,793	—	62,793	15,222	78,015	(78,015)	—
計	2,563,804	5,100,425	7,664,229	482,899	8,147,129	(78,105)	8,069,113
セグメント利益	139,930	1,261,798	1,401,728	73,001	1,474,730	△578,865	895,865

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護事業、ファイナンシャル・サポート・サービス、有料老人ホーム事業、少額短期保険業他が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△578,865千円には、セグメント間取引消去36,105千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△614,971千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。